

# 平成 30 年度 みどり「ひと・まち」スクール実施記録

## 第 1 講 開講式、オリエンテーション、交流会

参加者：35 名（4 期生 3 名欠席）

学長、コーディネーター、4 期生（12）、ナビゲーター（5）、  
緑区社会福祉協議会（2）、サブナビゲーター（2）、サポーター（6）  
元ナビゲーター（1）、緑区役所（5）

### ●学習目標・内容

#### 1. 開講講演「学びと実践の循環的対流」

「町田市の市民活動団体に関する調査」(2001 年 12 月)と  
論文「協働型都市内分権制度とコミュニティの役割」に  
基づく講演。

- (1)生涯学習:学びの局面、親睦が目的
  - (2)福祉関係:実践の局面、ボランティア目的
- 地域活動のスタンスの違いによって目的も活動内容も異なる

#### 2. 講座「健康寿命と地域活動デビューの心構え」

- (1)健康と地域活動とは密接な関係にある事
  - (2)健康を上げるための基礎知識と実践
  - (3)地域活動における実践的な心構え、活動の仕方
- 以上の3項目について学ぶ

#### 3. オリエンテーション

スクール全体の流れを紹介し、「夢プラン」作成について  
理解してもらう。

#### 4. 交流会

四期生の自己紹介を兼ねたスタッフ、修了生の交流を通して親交を深め、つながりの一步を築く。



基調講演 名和田学長



藤村ナビゲーターによる講演  
「健康寿命と地域デビューの  
心構え」



山路コーディネーターによる  
オリエンテーション



交流会  
(2、3 期生が司会・進行)

#### 担当ナビゲーターコメント欄(藤村さん)

- ・講座「健康寿命と地域デビューの心構え」が予想以上に好評だったのには驚いたと同時に安堵した。
- ・午後の自己紹介(交流会)の時間を多く取ったのは正解だった。初日とは思えないほど会話がはずんでいた。

## 平成 30 年度 みどり「ひと・まち」スクール実施記録

### 第 2 講 「市民活動」「地域活動」活動発表、資源を知ろう

参加者：36 名 4 期生（12 名）、活動発表者（3 名）、学長、コーディネーター、ナビゲーター（5 名）、サブナビゲータ（3 名）、サポーター（4 名）、元ナビゲーター（1 名）、修了生（1 名）、緑区社会福祉協議会（1 名）、緑区役所（3 名）、東洋英和女学院大学（参観 1 名）

#### ●学習目標・内容

##### 1. 学長講演：「横浜の市民活動と協働の意義～他都市との比較、欧米との比較から～」

- (1)参加と協働という政策理念について、杉並区の住民自治の実現を目指す基本条例や欧米の「共同生産概念」が日本の協働同じであるというお話。
- (2)横浜の協働の取り組みと横浜市の活発な市民活動の事例紹介とコミュニティカフェの紹介。

##### 2. 修了生のお話を聞こう：活動発表（スクール参加のきっかけ、夢プラン、現在の活動、苦労談など）

- ・1 期生古村 泉さん：長津田みなみ台多世代交流バザールの活動
- ・2 期生秋元祐治さん：「創造の森の会」や「花いっぱい会」の活動
- ・3 期生有賀勇次さん：子どもの「そろばん学習」、「宿題」等のサポート活動



修了生の活動発表

##### 3. 資源に気づこう：学長、コーディネーター、ナビゲーター等、運営スタッフ全員

「好きなこと」、「得意なこと」、「趣味」、「ほめられてうれしかったこと」の中から 3 つ選んでポスト it に記入し、模造紙に貼り発表

##### 4. 資源に気づこう：4 期生コーナー（3 項と同じように模造紙に貼り、発表）

- ・名和田学長のコメント：スクールは 4 期目を迎えたが、緑区には豊富な人材がいて、素晴らしい人が沢山いることを認識させられた。



「資源に気づこう」のワークショップは、学長はじめ全員が行った。



##### 担当ナビゲーターコメント欄（岡部さん）

- ・初めての試みで講座の机の配置を扇形にした事で、参加者の一体感が生まれたように思う。
- ・夢プラン作りに向かって、「自分の資源に気づこうや他人の資源を知ろう」という学習がとても楽しく実施でき、今後の講座に役立つのではと感じた。



## 平成 30 年度 みどり「ひと・まち」スクール実施記録

### 第3講

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| 1 緑区域 150年の歴史  | 講師 郷土史家 相澤 雅雄 氏 |
| 2 緑区のまちづくりについて | 講師 区政推進課 高西 係長  |
| 3 ムラの軸とトシの軸    | 講師 山路コーディネーター   |

参加者：30名 4期生 11名、コーディネーター1名、ナビゲーター5名、  
元ナビゲーター1名、サブナビゲーター1名、サポーター6名、区役所5名

### ●学習目標・内容

#### 1・相澤雅雄氏講演「地域で学び仲間をつくる」

鶴見川流域にある現在の緑区の歴史を紐解いた。農業が主体であった地域が昭和 40 年代の高度経済成長の進展に伴って、急激な人口増加による影響を受けて都市化が進み、昭和 44 年に港北区から分区して緑区が誕生した。急激な変化に伴い地域には様々な問題が起きた。特に電車・道路の交通網の整備であった。横浜線では鴨居駅・十日市場駅の開設、田園都市線の長津田駅接続、中山駅を始発とする市営地下鉄の誕生、また国道 246 号線の整備も加わった。こうした近代から現代への歴史の流れを学んだ。講師は、「変わりゆく緑区をもっと知るために、共感を持った人が互いに声をかけあって、更に探求する仲間づくりをしてほしい。」と結ばれ、受講生にとって、分かりやすい内容となった。

#### 2・緑区区政推進課 高西係長講演「緑区のまちづくりについて」

緑区は横浜市北部4区の一つで7つの区と1つの市に接し、来年秋には誕生 50 年周年を迎える区として紹介。自然やまちの構造、各地域のまちづくりプラン、人口の推移が話された。受講生にとって“緑区っていいな”これなら将来こんなことが出来そうだという思いが巡る内容であった。



#### 3・山路コーディネーター「ムラの軸とトシの軸」

横浜市の全体地形図から、細分化された緑区の地形図のスライドを見ながら進められ、明治時代からの水田、道、丘陵・台地の開発によって形成された今日の緑区を示した。



#### 担当ナビゲーターコメント欄(金子さん)

3人の講師が話された内容は緑区の歴史・自然・文化、と共通するものでしたが、切り口の違い、話の進め方によって受け取り方も違ったと思います。第3講全体を通して、4期生は緑区について一段と理解を深めたと思います。地域の歴史に触れ、先人が歩んできた地域課題解決の努力に触れ、4期生の心の中に「私にもこんなことが出来そうだ、よしやってやろうと言う「夢プラン」」に繋がるものが見出されたのではと感じています。

## 平成 30 年度 みどり「ひと・まち」スクール実施記録

### 第4講 「夢プラン」を作ろうワークショップ①

講師及び担当 竹迫和代講師 神田、藤村

参加者 30 人

講師 (1)、コーディネーター (1)、ナビゲーター (5)、サブナビ (3)、  
サポーター (5)、4 期生 (9)、元ナビゲーター (1)、聴講生 (1)、区役所 (4)

#### ●学習目標・内容

##### 1. 「夢プラン」作成 ワークショップ①

- (1)「夢プランにむけての芽だし」として、「私のやりたいこと」、  
「やりたいことは地域のどんな課題解決につながるのか」を  
2～3人一組になって語り合った。
- (2)自分の「やりたいこと」、「地域の課題」を A3 用紙に書き、全員に向けて発表した。
- (3)見本図を参考に、自分のやりたいことのコンセプト図を作成。  
図に乗せたい内容を付箋に書き、付箋を動かしながら伝えたいことが伝わる図を目指した。

##### 2. 「夢プラン」作成 ワークショップ②

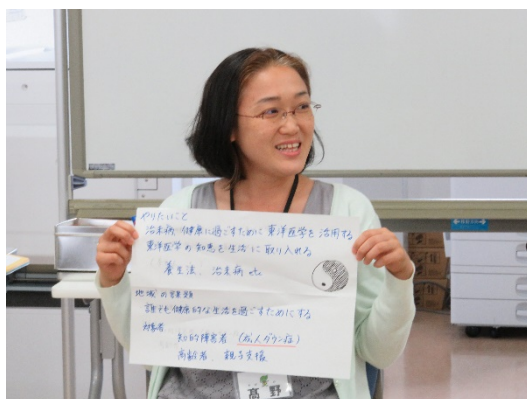
- (1)自分やりたいことのコンセプト図の原案を完成させた。
- (2)コンセプト図の原案を2人以上に見せて感想を聞く宿題が出された。

##### 3. 山路さんよりコメント&アドバイス

- (1)公共空間の活用ポイントについてのアドバイスがあった。



講師  
竹迫和代さん



#### 担当ナビゲーターコメント欄(神田さん)

- ・自分のやりたいことのコンセプト図の作成は最初戸惑った受講生もいたが、講師らのアドバイスを聞きながら付箋を動かし熱心に作成していた。
- ・ミーティングスペースで、マイクを使用せず一体感がなかったので、次回は大会議室を使用する。
- ・欠席者が多く、欠席者に対して第5講までに補講を行うこととした。

## 平成 30 年度 みどり「ひと・まち」スクール実施記録

### 第5講 「夢プラン」を作ろうワークショップ②

講師及び担当 竹迫和代講師 神田、藤村

参加者 28 人

講師（1）、コーディネーター（1）、ナビゲーター（4）、社協（1）、サブナビ（3）、  
サポーター（4）、4期生（10）、聴講生（1）、区役所（3）

#### ●学習目標・内容

##### 1. 「夢プラン」作成 ワークショップ③

- (1)グループ毎に、他の人や講師らにコンセプト図を見せて、  
質問や感想をもらいながら「夢プラン」を練り直した。
- (2)練り直した「夢プラン」の内容を夢プラン“骨太”シートの  
項目別に文章化した。
- (3)模造紙に夢プラン“骨太”シートを貼付けて発表用の資料を作成した。

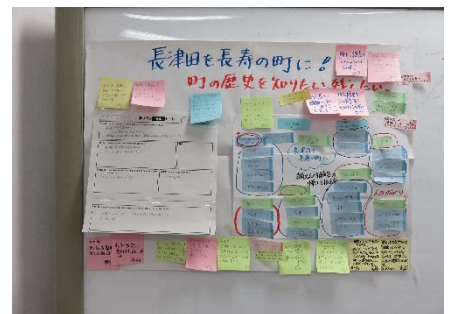


##### 2. 「夢プラン」作成 ワークショップ④

- (1) 夢プラン“骨太”シートを貼付けた模造紙をホワイトボードに貼り、各自が内容を発表した。
- (2)発表した内容について講師らが感想やアドバイスを付箋に書いて模造紙に貼付けた。
- (3)アドバイス等を参考にして、「夢プラン」をブラッシュアップし、「夢プラン」を完成させ、第7講で  
発表することとした。

##### 3. 山路さんよりコメント&アドバイス

- (1)夢プラン実現のためのアドバイスがあった。



担当ナビゲーターコメント欄(神田さん)

- ・出席者全員が「夢プラン」を作成し、発表したことは大変良かったと思いました。
- ・実現性の高いプランや長期的に取り組む必要のあるプランまで、いろんなプランの発表があり、  
今後は楽しみです。

# 平成 30 年度 みどり「ひと・まち」スクール実施記録

## 第 6 講 中山周辺 まちづくりから学ぶ

参加者：28 名 内訳：4 期生（11 名）、コーディネーター、ナビゲーター（4 名）、緑区社会福祉協議会（1 名）、サブナビゲーター（3 名）、サポーター（4 名）、区役所（4 名）

### ●学習目標

中山周辺の色々な活動を見て・聴いて・想像して、感動して  
4 期生がつくる夢プランのヒントとする



### ●内容

1. なごみ邸周辺のまちづくりと現地調査（齋藤好貴さん 大谷さん等運営者）  
みどり一むの南側住宅地には、自然派の若者たちが、あたらしいコミュニティ「753 プロジェクト」作りをしています。その中心は地主の齋藤好貴さん。長期的な視点で、交流を通してまちの魅力づくりに取り組み、当地域の再生を図っています。観桜会やイベント（753 市）、教室、発酵文化の菌カフェ、人が集う季楽荘、シェアハウス・シェアオフィス、さらに賃貸のなごみヒルズなど遠大な街づくりを聞きました。
2. 地域活動ホーム「あおぞら」について（蕨所長）  
障害児・者の日中活動の場で、趣味活動やせんべい工房で仕事をする社会参加、総合相談と支援する機能の説明を聞いたのち、施設内を見学しました。障害のある方の日常生活を知る機会となりました。
3. ハーモニーみどりの説明（中山地域ケアプラザ：井口さん・林田さん 緑区社協：松本さん）
  - ・受講生のランチタイムに合わせてアイスティーとホットコーヒーをケアプラザを拠点に活動しているボランティアの皆さんから提供された。ケアプラザの活動と実際のボランティア活動者の話しを聞く機会ともなった。
  - ・緑区社協からは、助成金制度や福祉保健活動拠点の機能の説明、ボランティア活動と関係する事業等の紹介が行われた。
4. 中山小学校の歴史、古くからの寺院や道路等で中山の歴史をひもとく。（田中ナビゲーター）



#### 担当ナビゲーターコメント欄

- ・なごみ邸周辺の 753 プロジェクトは、当地域の既存建物に、若者たちがイベントや事業で交流し、つながりある地域づくりに取り組んでおり、新鮮さもあり感動しました。障害児・者のホームでの活動を知ることも貴重で、作業所で作ったせんべいをみんなで購入しました。ハーモニーみどりでもいろいろな活動を見たり・聞いたりして、福祉を知る機会となり4 期生にとって参考となる一日になったと思います。（田中さん）
- ・個人の楽しみの活動が、ヨコのひろがり（753 プロジェクト）やタテのつながり（「ひと・まちスクール」第 1 期生からコーヒーボランティアの活動へ）によって、住み心地の良いまちづくりの取り組みに展開していく実例を知る機会となり、参考になる一日になったと思います。（緑区社協：松本さん）

## 平成 30 年度 みどり「ひと・まち」スクール実施記録

### 第 7 講 修了式・夢プラン発表会

講師及び担当 名和田学長、山路コーディネーター、担当：岡部、金子

参加者 41 名

学長、コーディネーター、ナビゲーター（5）、緑区社会福祉協議会（2）、サブナビ（3）、サポーター（5）、聴講（6）4期生（12）、区役所（6）

#### ●学習目標・内容

1. 名和田学長から修了証書 10 名への授与  
(代表して富岡恵子さんへ)
2. 名和田学長から皆勤賞6名への授与(代表して前田實さんへ)
3. 名和田学長から、今日から夢プランの実現に向けて頑張ってほしいと励ましの挨拶があった。
4. 続いて小野崎緑区長から「緑区の街を良くしようという取り組みがこんなに沢山あることがうれしく思います。これから仲間づくりや活動に励んでください」との挨拶があった。
5. 修了生答辞:代表して井山恵理子さんが答辞を行い、緑区の素晴らしさを知らされたことや自分の子どもと一緒に受講できた事への感謝の言葉が述べられた。
6. 引き続き、お祝いのメッセージが読み上げられた。
7. 修了生を中心に記念の集合写真の撮影を行った。
8. 休憩を挟んで修了生 10 名の「夢プラン」の発表があった(一人3分間スピーチ)
9. 夢プランの発表を受けて感想(ひとこと):講師の竹迫さん、岡部ナビゲーター、社協小野事務局長
10. 講評:名和田学長、山路コーディネーターから励ましと期待の言葉があった。
11. 「夢プラン」発表終了後、午後から懇親会を実施した。



#### 担当ナビゲーターコメント欄

- ・修了生の「夢プラン」の中には、チャレンジ提案やふれあい助成金提出につながるもの多く、今後に期待が持てる感じた。(岡部ナビゲーター)
- ・発表された 10 名の方の「夢プラン」は、発表のために作成したプランではなく、実現に進められている過程であり、今後の成果を期待します。(金子ナビゲーター)